



地域の活性化を目的とした「無人駅の活用」 クラウドファンディングプロジェクトを9月30日よりいよいよ開始！

東日本旅客鉄道株式会社(本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：深澤祐二)と JR 東日本スタートアップ株式会社(本社：東京都新宿区、代表取締役社長：柴田裕)は、「JR 東日本スタートアッププログラム 2018」で採択した株式会社 CAMPFIRE(本社：東京都渋谷区、代表取締役 CEO：家入一真)と、「地域にチカラを！プロジェクト」と題し、「地域商品開発」「無人駅の活用」の2つのテーマで新規事業案を募集しました。このたび、応募の中から選ばれた「無人駅の活用」部門の2プロジェクトを対象に、CAMPFIREにて資金調達を2019年9月30日(月)より開始いたします。

1. 「地域にチカラを！プロジェクト」について

「地域にチカラを！プロジェクト」は、地域の活性化を目的に、CAMPFIRE がクラウドファンディングのプロジェクト立ち上げをサポートし、JR 東日本はネットワークを生かした PR をサポートする、共同のプロジェクトです。

2018年12月から約1ヵ月間、「地域商品開発」と「無人駅の活用」の2つのテーマで、地域をより元気に、より魅力的にするアイデアの一般公募を行いました。今回は「無人駅の活用」部門への36件の応募の中から、JR 東日本と CAMPFIRE が選出した2件のプロジェクトを開始します。

- 一般社団法人次世代漆協会による、山田線^{かみよない}上米内駅(岩手県盛岡市)のプロジェクト
「イーハトーブの里山に、無人駅を活用したカフェと工房を作りたい！」
- 有限会社ストカによる、信越本線^{おびおり}帯織駅(新潟県三条市)のプロジェクト
「無人駅を活用して燕三条地域の産業発信地と交流拠点にしたい」

それぞれのプロジェクトにおいて、JR 東日本は地域の活性化の舞台として、地域の企業・団体に対して無人駅の駅舎の貸付けを行います。また、地域の企業・団体は、準備・運営に必要な資金の一部について、CAMPFIRE のプラットフォームを利用してクラウドファンディングでの資金調達に取り組みます。

クラウドファンディングの募集期間は2019年9月30日(月)～11月29日(金)です。

2. 「無人駅の活用」部門に選出された 2 件のプロジェクト

- 一般社団法人次世代漆協会による、山田線 ^{かみよない} 上米内 駅（岩手県盛岡市）のプロジェクト
「イーハトーブの里山に、無人駅を活用したカフェと工房を作りたい！」

<https://camp-fire.jp/projects/view/190589>

（9月30日(月)午前11時より公開予定）

漆増産に取り組む ^{かみよない} 上米内 地域の鉄道駅において、列車の待合所としての役割に加え、飲料の提供と漆工房があるカフェ、産直やイベントのできる場所、地域を元気にする賑わう拠点を作ります。



一般社団法人
次世代漆協会 × 岩手県 山田線
上米内駅

- 有限会社ストカによる、信越本線 ^{おびおり} 帯織 駅（新潟県三条市）のプロジェクト
「無人駅を活用して燕三条地域の産業発信地と交流拠点にしたい」

<https://camp-fire.jp/projects/view/172423>

（9月30日(月)午前11時より公開予定）

ものづくりの町として高い技術力を持った企業が集まる燕三条地域だからこそできる、無人駅をリノベーションした地域産業の発信拠点とものづくりができる交流拠点を作ります。



有限会社
ストカ × 新潟県 信越本線
帯織駅